

たなか

笑楽校2024

令和6年11月21日 NO45
柏市立田中小学校 並木孝樹

4年生「命の授業」を行いました！

先日、4年生で「命の授業」を千葉県助産師会の方2名を講師としてお招きして行いました。体育館に4年生4クラスが集まり、5、6校時にかけて講義をうけるという形です。ご希望された保護者の方も26名ご参加いただきました。内容は大きく分けると以下の2つになります。

前半：「二次性徴について」

後半：「性をどうとらえるのか」「性の情報について」「心の性とは」「生きる力と技」

前半は模型等を使ってわかりやすく説明してくれました。後半は出産時の動画等を活用して解説をしていました。子ども達は知っていることもあったり、知らないこともあったりで、関心を持って聞いていました。約2時間という長い時間でしたが、最後までしっかり聞こうとがんばっていた姿が見られ、嬉しく思いました。

最後には保護者の方へのお話やQAコーナーがあり、充実していました。



子ども達の感想です。

4-1

①「命の授業」のおかげで、親にかんしゃしようと思いました。また、自分に「すごいね。」と思えるようになりました。話をきいてから、大人になるのが楽しみになりました。

②赤ちゃんが、ちつを通る時にちつの形にあわせて体のむきをかえるくふうをそんなに小さいときからしていることがすごいと思いました。

4-2

①今回の授業では、命はどうやって生まれるのかと言う事や、命の大切さがわかったので、これからは、命を大切にしようと思いました。

②ぼくは命の授業を通して、もっと卵子、精子はなぜできるのか。なぜ体はあんな仕組みなのか知りたいと思いました。

4-3

①今回の命の授業で男子と女子の体のちがいが分かりました。助産師さんは人の命を

守るすてきな仕事だなと思いました。話を聞いてよかったです。

②赤ちゃんについてあまり知らなかったので、たくさん知れてうれしかったです。想像以上に体にはたくさんの不思議があることがわかりました。

4-4

①助産師さんの「精子と卵子が自分になって産まれる確率が四百四十兆分の一」という一言がとても衝撃的で強く印象に残り、自分の命をもっと大切にしようと思いました。

②家にもぼくが生まれた時の写真があるけど、命のじゅぎょうで出産の動画も見て、赤ちゃんがおなかから出る時をくわしく学べてよかったです。